

研究課題名	半固形経口栄養補助食品と全粥食による胃癌術後期栄養管理
研究機関名	武蔵野赤十字病院
研究責任者	所属 外科 氏名 大司俊郎
研究期間	(西暦) 2018年 2月(倫理委員会承認後) ~2018年5月
研究の意義・目的	胃癌術後の術後食に関してどのような食事が良いかは科学的根拠はなく世界各国で、また本邦においても各施設において独自の工夫がなされている。当科ではERASプロトコルを参考に改善に取り組んでいる。術後経口摂取は以前は補水液に続く流動食による管理を行っていたが、その後半固形経口栄養補助食品に続く3分粥食、現在は半固形経口栄養補助食品に続けて全粥食による管理を行っている。この変更が患者に与えた影響を調査する事により、変更点が妥当であるか、さらなる変更が必要か検証する事。
研究の方法 (対象期間含む)	2011年11月から2017年7月までに当科にて腹腔鏡下胃切除を行った122例のStage I 胃癌の連続症例を対象とした。栄養管理の違いにより前期群：33例、中期群：45例、後期群：44例に分類し臨床病理学的背景、術後経過、術後食初回の間食者の割合および術後1か月以内の体重変化を後方視的にカルテ記載内容から調査する。
①試料・情報の利用 目的及び利用方法 (匿名加工する場合や 他機関へ提供される場 合はその方法含む)  ②利用し、又は提供す る試料・情報の項目  ③利用する者の範囲  ④試料・情報の管理 について責任を有す る者の氏名又は名称	特記事項なし
問合せ先	当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ  〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 外科 氏名 大司俊郎  TEL : 0422-32-3111 (代表) 6812 (事務局内線) FAX : 0422-32-3525